

若さでがんばってます

252

今回は緑区の
佐々木 文加さん (24歳)
を紹介します。



出会いを大切にしたい

— 今までは。
保健師の学校を卒業後、村保健センターに勤務しています。
— 仕事の内容は。
勤めて二年目になりますが、保健師の仕事をしています。
— 職場で心掛けていることは。
広い視野をもつことですかね。
— 今の仕事についての理由は。
話すとき長くなりますが……まあ一言で言えば、地域に根づいた仕事、そして役に立つ仕事でしたかったです。
— 仕事が休みの日は何をしていますか。
掃除、洗濯が終われば次第、とにかく外へ。ドライブしたり、買い物したり魚釣りをし

たり。

— 今、してみたいことは。
全都道府県をまわってみたいですね。おいしいものに出会い、いろいろな人に出会い、いろいろなものを見てみたい。
— 趣味、特技は。
方向音痴、運転は苦手ですが、ドライブが好きですね。歌ったり、景色を眺めたり、出掛けるたびに新たな発見があつてワクワクします。
— 好きな言葉(信条)は。
一期一会。出会いを大切にしたいですね。
— 理想の男性像と結婚は。
理想の男性像は、一緒にいて落ち着ける人ですね。結婚は……いつかします！(希望)将来のあなたは。
— とにかく、いつまでも、笑ってほしいなあ。
— これからの村に期待するものは何ですか。
世代間交流が、もっとできれば……。というより、私が見たいだけかも。でも、世代間交流って、とても大切なあと私は思います。
— 最後にあなたのPRを。
私を見かけましたら、気軽に声を掛けてください。
— 次回はどなたを紹介してくださいますか。
黒崎の盛田知春さんです。

『一流』で あり続けるために

小松 成美

中田英寿、イチロー、武豊。彼らは、何をどう考え「自分」を維持しているのか。「一流」に一番近い著者が描く、闘う男たちの情熱と葛藤。

(新潮社)



『奪還』

蓮池 透

平穏な生活を突然に破壊した「北朝鮮拉致」。残された家族の悲嘆と絶望、感動の帰国をめぐる異常な混乱、洗脳を解くための論争の日々。国家犯罪と闘い続けた兄の渾身の手記。

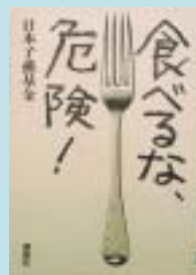


(新潮社)

『食べるな、危険!』

日本子孫基金

あなたが食べている食品の隠された事実を知っていますか。



表示の見方、スーパーの選び方、よい食材を手に入れる方法など、危ない時代を生き抜くヒントも満載。

(講談社)

『レイチエルと滅びの呪文』

クリフ・マクニッシュ



降る雪さえ黒い、暗黒の星イスレア。ここでは邪悪な魔法がすべてを支配する。はたして、レイチエルは、この星を救う伝説の「希望の子」なのか。

(理論者)

図書館漫遊